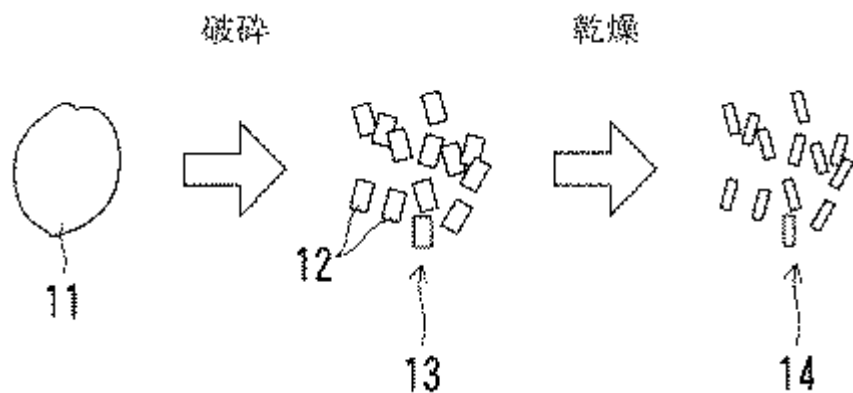


エネルギー

低コストで高い燃焼効率が得られるバイオ燃料

発明の名称	バイオ燃料およびその製造方法並びに発電方法		
出願人/権利人	株式会社バイオエナジージャパン、株式会社青山	発明者	篠村 敬一
出願日	平成29年7月4日	出願番号	2017-131265
公開番号	2019-14783	特許番号	-
法的状態	出願中		

代表図



- 11 果実(ジャトロファの果実)
 12 破砕片
 13 粒状物
 14 乾燥粒状物

発明の概要

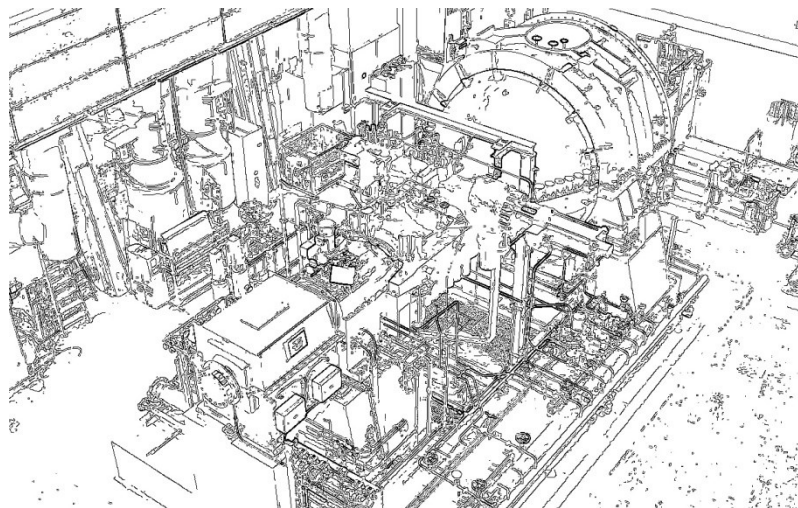
ジャトロファ(熱帯性低木)を用いたバイオ燃料
 およびその製造方法並びに発電方法

特徴

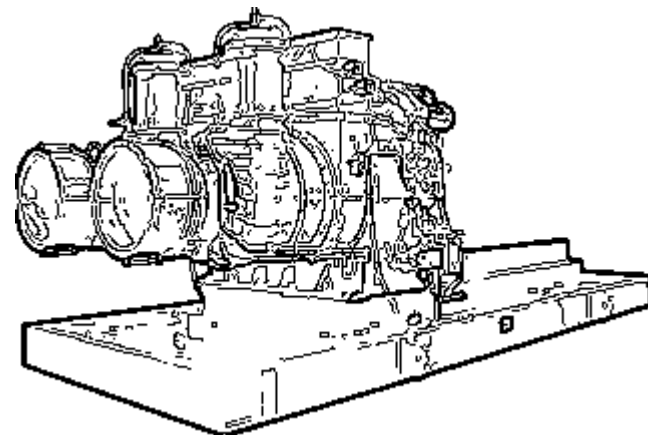
従来技術では、原料から油脂を抽出するなどの複雑な工程を経てバイオ燃料を製造するので、設備コストおよび運転コストが大きい。

本発明は、低コストで高い燃焼効率が得られるバイオ燃料である。乾燥粒状物はバイオ燃料としてボイラーで燃焼させて発電を行うために用いられる。乾燥粒状物は、ほぼ完全燃焼し、燃焼させた後にカーボンがほとんど残ることなく、単位重量当たりの熱量が高い。しかも、燃焼による悪臭がほとんどない。また、原料から油脂を抽出するなどの複雑な工程を経ることなくバイオ燃料を製造するので、製造コストが低く抑えられ、石炭の代用となる。

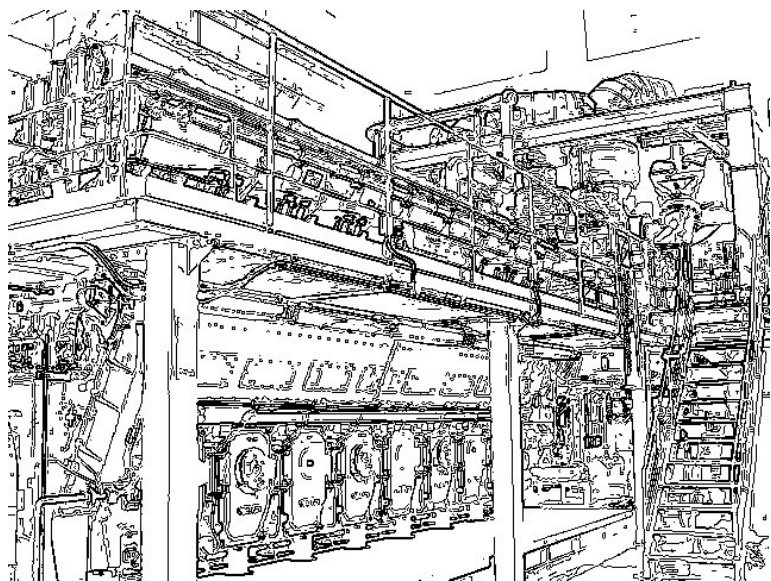
応用の可能性



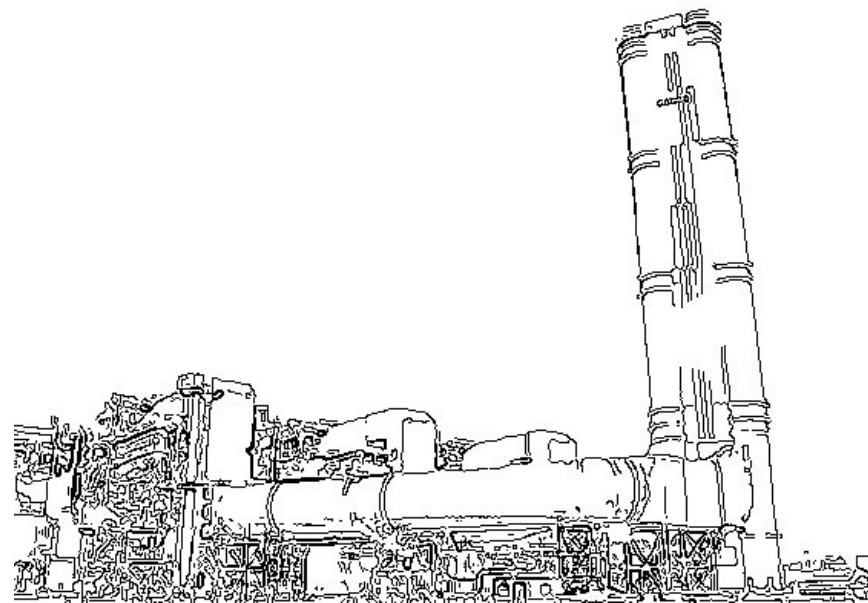
汽力発電



ガスタービン発電



内燃発電



コンバインドサイクル発電

など

応用の可能性

- ・汽力発電
- ・内燃発電
- など
- ・ガスタービン発電
- ・コンバインドサイクル発電

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社三井E&Sマシナリー
- ・三菱日立パワーシステムズ株式会社
- ・川崎重工業株式会社
- ・三菱重工業株式会社
- ・ダイハツディーゼル株式会社
- ・株式会社IHIジェットサービス
- ・新潟原動機株式会社
- ・大阪ガス株式会社
- ・株式会社トヨタエナジーソリューションズ
- など

株式会社バイオエナジージャパンおよび株式会社青山の本発明に関する最新動向

- ・株式会社バイオエナジージャパンのホームページは見受けられない。
- ・株式会社青山のホームページは見受けられない。